

SONY 長期的な企業価値向上に貢献する IR

ソニー株式会社 代表執行役社長 兼 CEO 吉田 憲一郎

このたびは、「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」電気・精密機器部門第 1 位にご選定いただき、誠に有難うございます。1 位を受賞するのは 20 年振りとなりますが、当社の IR 活動を評価していただいたことを大変嬉しく、光栄に思います。

当社では、「長期的な企業価値向上に貢献する IR」をテーマとして、経営方針説明会や IR Day、ESG 説明会を継続的に開催し、株主を含むステークホルダーの皆様との対話を行ってきました。事前に資本市場の皆様の声を集め、発信する情報の質を高めるとともに、直接かつ双方向の対話の場となるよう、質疑応答の時間を十分確保するなどの工夫をしています。また、資本市場とより活発な意見交換を行う場として、ソニーグループのトップマネジメントだけでなく各事業責任者によるスモールミーティングも積極的に開催し、多岐に亘る当社の事業への理解促進を図るとともに、皆様からいただいた声を経営に活かしています。

最近では、新たに統合報告書を発行するとともに、当社の多様な事業をつなぐテクノロジーを発信する Sony Technology Day を初めて開催しました。これらを通じ、「テクノロジーに裏打ちされたクリエイティブエンタテインメント

カンパニー」である当社の創出する価値や多様性について理解を深めていただくことも目指しています。

ディスクロージャーにおいては、開示は対話のためのツールと捉え、資本市場との対話の質を高める開示の拡充に取り組んできました。まず 2014 年度には、分野別の業績見通し、固定資産・営業権、棚卸資産、ROIC の開示を始め、その後は、ゲーム&ネットワークサービス、音楽、映画といったエンタテインメント事業に対する投資家の理解を促すため、この領域の開示拡充に力を注ぎました。そして、2018 年度決算からは、分野別のキャッシュフローの実績を開示しています。分野別のキャッシュフローを開示することで、異なる特性を持つ各事業に対する、資本市場からの適切な評価につなげていきたいと考えています。

今後は、エレクトロニクスからエンタテインメント、金融まで多岐に亘る当社の各事業が連携することによって生み出されるシナジーについても発信を強化し、資本市場との対話を深めていきたいと考えています。今後も IR 活動の更なる充実・進化に取り組んでまいりますので、引き続き皆様からのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。